

きらめく
まちビト

×
鈴木 信行



名寄市街地の国道40号から東側のごみ収集を担当する名寄衛生公社に勤める鈴木信行さんに、ごみ出しの注意点などについてインタビューしました。

市民の皆さんに感謝されると嬉しい。まだまだ続けていきたい仕事です。

いつ今の仕事に就きましたか

26歳の時に知り合いの紹介で名寄衛生公社に入社しました。最初は汲み取りの仕事をしていましたが、会社が市からごみ収集の委託を受けた平成17年からはごみ収集をしています。入社して次の年の1月から3月まで名寄市の環境衛生課に出向したこともあり、ごみに縁があるなと思います。

仕事の内容は

8時30分に出発して昼に1時間休憩し、15時30分くらいに収集は終わります。名寄衛生公社で担当する区域を3つのエリアに分け、3人で1台の収集車に乗り、1エリア1台、計3台で収集します。一人が運転手で、2人がごみを集めます。歩く距離は1日約25キロにもなり、体力が必要です。名寄衛生公社で担当する区域で、収集車1台が1日に回収するごみの量は、炭化ごみで2300〜3600キロ、埋立ごみで5000〜6000キロになります。

ごみ収集で大変なことは

名寄市は昔から戸別収集をしています。運転手は3つのエリアのそれぞれの収集コースを覚えるのももちろんですが、1軒1軒収集漏れがないように集中して見なければい

けません。また、それぞれの家のごみステーションの位置も覚えます。夏と冬で場所を変える家もあるので、注意が必要です。簡単そうに見える仕事ですが、決して楽ではありません。

ごみを出すときに気をつけて欲しいことは

まず、8時30分までに出すことを守っていただきたいです。ごみの量や天候などで収集時間が変わってきますので、必ず8時30分までに出すようにお願いします。

次に、分別をきちんとすることです。特に気をつけていただきたいのは、プラスチック容器包装類です。プラスチック容器包装類は、プラスチック製の容器や包装類のこと、バケツ、タッパーなど商品そのものは対象外です。収集していると持っただけで対象外のものが入っているとわかるので、何が対象外のものなのかわかりやすい場所に警告シールを貼り、回収せずにその場に置いていきます。分別を守ることは資源を増やすことにもつながるので、協力をお願いします。

また、新しく家を建てたときは、いつからごみを出すのか市役所環境生活課に連絡し

ていただくとスムーズに回収を開始できます。

仕事でやりがいを感じる時は

収集するときに、冬でもわざわざ家から出てきて「いつもありがとうごさいます」と声をかけてくれる方がいて、やってよかったなと思います。他の作業員もそう言われると嬉しそうにしています。また、小学校低学年くらいまでの子どもたちが収集車に興味を示してくるので、少量のごみでも巻き込んであげて、安全に注意しながら、ごみが押し込まれていくようすをみせてあげます。自分の仕事に興味を持ってくれて嬉しく思います。

Profile

鈴木 信行 (すずきのぶゆき)

昭和32年3月生まれ。名寄市出身。妻と2人暮らし。筋トレが趣味で名寄パワーリフティング協会に所属している。



▲ごみの分別方法など詳しくは「ごみ分別ガイドブック」をご覧ください

きらめくまちビト…名寄市内で活躍する市民などの紹介を通して、地域の魅力を発信します。